

2023年11月1日

学生各位

帝京大学  
学長 冲永 佳史

## 生成 AI の取り扱いと注意事項について

ChatGPT に代表される生成 AI に対する取り扱いの方針は、4月24日に「ChatGPT 等の生成系 AI 利用への対応について」と題する第1報でお知らせしました。第2報として、大学における生成 AI の取り扱いの方針に加えて、その他場面での注意点を以下の通りお知らせします。

### 【基本方針】

レポートや学位論文等の課題は、学生が自身の考えに基づき、自身で作成し、自身が責任を負うことが前提です。生成 AI の出力そのものをレポートや論文として提出すると、自ら主体的に考え学ぶという重要な学習機会を喪失してしまうことになります。このような生成 AI の使用は不適切であり、第1報でお知らせした方針と同様に、認められません。

一方で、生成 AI のような技術を適切に利活用し、雑務を省力化したりアイデア生成の補助を受けたりすることは、問題解決のための作業の効率化や学習効果の向上につながります。このような技術の利用は、ウェブにおける情報検索と同様に、今後の社会において不可欠となることが想定されます。生成 AI の利用を一律に禁止するものではなく、適切かつ効果的な範囲で利用することは推奨されます。

そのためには、生成 AI と利用の注意点を理解しておく必要があります。授業や研究において生成 AI を利用するときは、教員の指示に従い、不明な点があるときは教員と十分に相談することを原則とします。

### 【注意事項】

#### ○ 生成 AI の性質と技術的な限界

ChatGPT に代表される文章生成 AI は、多量の文章データから学習して作られた「言語モデル」を用いて、人間が書いたような、自然な文章を生成することができます。ただし、「正しい知識」を提供するためのシステムではないため、誤った知識を作り出すことがあります\*1。誤りを判定する機能はなく、誤った知識ももっともらしく説明してしまうため、その分野の専門家でないと誤りと判断できない場合があります。

生成 AI は問題を解く、文章を要約する、翻訳するなど、様々なタスクを実行できます。ただし問題を解くといっても、それぞれの問題を正しく解く機能はありませんので、誤答する場合があります。

生成 AI の出力は、入力する指示文（プロンプトと呼ばれます）に加える情報によって大きく変化します。とりわけ専門性の高い問題解決に利用する際には、十分な情報をプロンプトとして与えた上で、出力が正しいかを評価する必要があります。

現在（2023年9月時点）の ChatGPT のモデルは、2021年9月までに作成された文章

に基づいて構築されています。そのため、それより後の出来事についての知識は持っていません。生成 AI のモデルは、常に最新のデータに更新し続けているわけではありません。

#### ○ 成績評価における方針

基本方針で述べたように、生成 AI の出力そのものをレポート等の答案として提出することは不適切であり、認められません。

#### ○ 授業において利用する場合の注意点

基本方針で述べたように、生成 AI を授業で利用する際は教員の指示に従ってください。

レポート等において生成 AI を利用した場合は、利用した旨と、利用の方法（利用したツールの名称、利用箇所、ツールへの入力とツールからの出力）を明記すべきと考えられます。これは、ウェブで検索した資料の内容を引用した際、引用箇所を明示した上で、出典情報を記載することと似たルールとすることができます。

#### ○ 利用方法の例と注意点

生成 AI の有効な利用場面として挙げられるのは、問題解決や学習の補助・支援です。具体的には、ブレインストーミング、論点の洗い出し、情報収集、文章校正、翻訳やプログラミング、Microsoft Excel 等の表計算ソフトウェアの使用の補助等です。

授業で課題などに使用する場合、生成 AI はその授業の様子を理解できないことに注意が必要です。課題の指示を生成 AI に入力して得られた出力は、誤りがなくとも、課題の意図に合わないことから適切な答案になっていない可能性があります。授業の課題に使用する場合、生成 AI の出力は参考にするのみに留め、生成 AI の判断にひきずられないようにしましょう。

また、生成 AI の出力は誤っている可能性があることを、常に念頭に置く必要があります。答案の作成に生成 AI を利用した場合であっても、その答案の責任を負うのは自分自身であることを忘れないでください。

#### ○ 機密情報と個人情報についての注意点

生成 AI は、入力された情報を蓄積する場合があります。未発表の論文・研究成果や個人情報、生成 AI に入力しないようにしてください。その他、アルバイトをして知りえた業務上の情報など、他者に公開してはいけない情報の入力も避けてください。

生成 AI によっては、入力された情報を学習データとして送信するか否かの設定項目を持つ場合がありますので、このような設定項目をオフにして利用することを検討してください。

#### ○ 著作権についての注意点

生成 AI に詩や物語などの創作物を作成させると、他者の著作物と同一または類似したものが出力される可能性があります。そのようなものが出力された場合、授業の中での利用に留めるのであれば問題ありませんが、SNS へのアップロード等を著作者の許諾なしで行うことは、著作権侵害に相当します。

\*1 ハルシネーション(Hallucination、人工知能の幻覚という意味)と呼ばれますが、これは生成 AI が用いる手法の特徴で、例えば写真中で隠れて見えない箇所の像を推定して作るような技術の基にもなっています。

(注) 本学ではいままで、生成系 AI という表記でしたが、文科省の通知に従って生成 AI とします。